

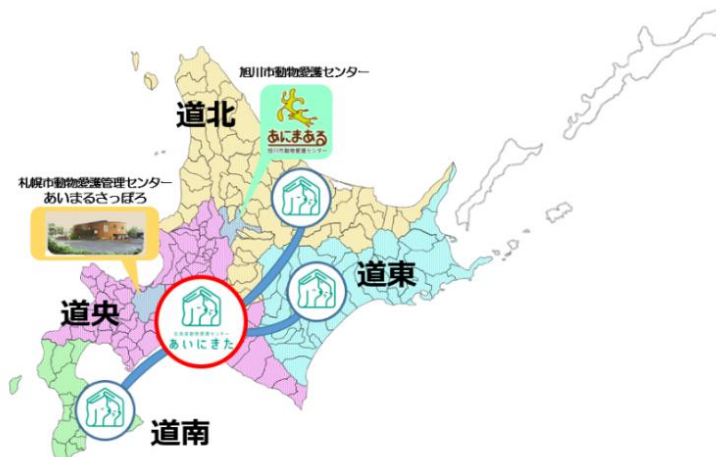
北海道動物愛護センターについて

1 動物愛護センターについて

- ・ 行き場のない犬や猫を、新しい飼い主の元につなぐための施設。
- ・ 道の広域性等や道民の利便性を考慮し、道内4カ所（道央、道東、道北、道南）で順次開設。

2 北海道立動物愛護センターについて

- ・ 酪農学園大学の敷地内に、道内全体のセンター運営の総合調整を担う道直営の基幹センターとして、令和6年4月1日から開設（3月27日に開所式を開催。詳細は別途発表。）。



- ・ 最大の特徴は、能登半島地震では仮設住宅として使用された移動可能な「ムービングハウスユニット」を組み合わせて建設。災害発生時には、一部を切り離し、被災地に輸送して、被災した犬猫の保護などの活動拠点として活用。

⇒こうした機能を有しているセンターは全国初。



3 ログマークについて

「パートナーにあいにきた」というコンセプトのもと、一生を共にするパートナーと出会い、新しい家の家族になるという意味を込め、動物の頭を撫でる仕草を家のシルエットに見立てて表現したもの。



<コンセプト>
パートナーにあいにきた



環境生活部自然環境局
自然環境課
動物愛護管理センター